

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

グループホーム ルネスふれ愛の家

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>理念の一つに「地域との交流を深め、地域に信頼という花を咲かせます」がある。 名札の裏に理念を入れている、朝の申し送り時に理念の唱和を行っている。</p>	<p>継続していく。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念の唱和は、管理者も一緒に行い、管理者、スタッフ共に理念を共有できるように努めている。</p>	<p>継続していく。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>家族への配布物(ふれ愛便り)などにも理念を揚げたりして、理念を理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>継続して行く。</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>地域の行事に参加や施設への慰問の時など、見学に来ていただいたりしている。(介護者教室、道路愛護)</p>	<p>○ 機会を増やして行けるよう取り組みたい。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の行事にはできるだけ参加させて頂けるように努めている。(道路愛護、地域のもちつき大会、お祭りなど)</p>	<p>地域活動への参加の継続。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	介護者教室の開催や地域行事への参加に努めている。		継続して取り組む。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	改善項目があれば職員に掲示して改善への取り組みを行っている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族が参加がしやすいように呼びかけ、報告をし、相談、要望、質問を受け、話し合っている。要望等は、事業所内でも話し合い、向上できるように活かしている。		継続して行く。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	質疑、相談等、こまめに連絡を取り合い、向上できるように取り組んでいる。		継続して取り組む。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、権利擁護を必要とする人はいないが、普段から行政と連絡を取り合い、すぐに連携が取れるようにしている。後見人制度を利用している人はいる。	○	権利擁護、後見人制度については職員全員が理解できるようにしていきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	暴力だけでなく、言葉での虐待があると理解し、言葉づかい、態度(マナー)について、時々振り返るようにしている。	○	より細かいところにも注意できるようにしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	申し込む時に、ホーム運営の目的や医療連携体制の説明を行っている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護相談員の方も来所し、意見を聞いてもらっている。ご家族との間に相談苦情を言えるような雰囲気をつくれるように心がけている。	継続して行く。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回ふれ愛便りと個々に合わせた報告をしている。また月1回、担当スタッフが利用者の暮らしぶりや健康状態などを手紙に書き、請求書と一緒に送っている。	継続して行く。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や介護者教室への参加を呼びかけ、そこで意見等を出せるように雰囲気を作り、職員会議で話し合い反映している。面会時も、気楽に声をかけて頂けるよう努めている。	継続して行く。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月会議の開催をしている。日頃から管理者は職員からの質問提案に、すぐに対応してくれている。	継続していく。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	できる限り努めている。行事等の時は職員を通常より多く確保している。	継続していく。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	SH、GHで日頃から合同で行事を行うなどして、双方の利用者と関わられるようにしている。	継続していく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部への研修など、積極的に参加できるように勧めている。毎月1回、内部研修を実施している。	継続していく。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡協議会に入っている。研修等には、積極的に職員への参加を勧めている。同業者等の交換研修も積極的に参加している。	継続していく。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	食事会を設けたり、個人の相談にも対応したり、環境づくりに気配りをしている。	継続していく。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修へ参加した職員が内部研修の講師を行ったりして、他の職員にも情報などを伝えられるようにしている。	継続していく。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人からの相談、訴えには傾聴し、丁寧に返答するようにしている。	継続していく。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	申し込み時の相談からホームの内容を説明し、家族の思い等を聴き、安心して利用出来る様に努めている。	その都度、こちらでの様子を説明、報告するように努めている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時の事情や内容で、今必要と考えられるサービスを説明したり、紹介したりしている。		継続していく。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	出来る限り本人を含めて、見学をして頂くようにしている。		継続していく。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お世話するという関係とにならないように意識して行っている。一緒に裁縫を行ったり、畑仕事を行ったりしている。食事と一緒に摂る。(同じ物)		継続して行く。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	祭りや餅つきなど行事への参加を呼びかけ、一緒に参加してもらえるようにしている。		継続して行く。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	来所時に、近況報告を行い、安心してもらえるよう支援している。		継続して行く。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	どなたでも気軽に来所できる雰囲気づくりに努めるようにしている。		継続して行く。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	洗濯物をたたんでもらったり、車椅子を押してもらったり、利用者同士の関わり、支え合いができるように声をかけるようにしている。		継続して行く。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	対象ケースは無かったが、必要に応じてフォローアップを図っていききたい。	○	継続的な関わりを続けていけるように対応していきたい。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人、家族の希望、意向に、出来る限りそえるように努力している。		継続していく。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族から経過等の聞き取り、また、関係機関からの情報収集を行い、職員にも伝えるようにしている。		継続していく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	バイタルチェックを行い、観察、情報などから総合的に把握し、今出来る事を見極め行ってもらっている。		継続していく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当スタッフ中心に、ニーズ・課題を抽出したり家族の情報を基にカンファレンスを行い、介護計画につなげている。		継続していく。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化が生じた場合はすぐに話し合いをし、対応できるようにしている。 毎月、会議にてモニタリングを実施し、必要に応じ計画の見直しをしている。		継続していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護経過を記録し、申し送り等で情報の共有ができるようにしている。		継続していく。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の希望により一緒に買い物に行ったりする。家族が会議や介護者教室に参加する時には送迎したりしている。		継続していく。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	各協力機関と連携しながら支援するように努めている。 (運営推進会議に出席して頂く等)		継続していく。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の趣味嗜好や希望に沿って、他のサービスの説明を行い実現への支援を行っている。		継続していく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在、権利擁護を使う方はいないが、包括支援センターとは連絡をとり、協働できるようにしている。		継続していく。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関へ連絡し必要な指示を受けたり、受診できるようにしている。 1週間に1度、協力医療機関の往診があり、健康相談もしてくれている。		継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		継続していく。
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		継続していく。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		継続していく。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		継続していく。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		継続していく。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		継続していく。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>トイレや入浴等で声かけに注意している。 記録等の取り扱いにスタッフ間でも注意し合っている。</p>		継続していく。
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>職員が先回りせずに、本人の思いを傾聴し、支えて行けるよう努めている。</p>		継続していく。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>職員の考えを押しつけず、本人が「どうしたいか？」と考えながら取り組んでいる。</p>		継続していく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>月1回美容師さんが来所し、希望者はカットしてもらう。望む店がある人は外出時にご家族と行っている。</p>		継続していく。
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>本人の嗜好を確認しながら行事食やおやつ作りを職員と一緒にしている。</p>		継続していく。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> <p>お茶の提供時に、いくつか選択して頂けるよう用意し、何を飲みたいか、確認した上で提供するようにしている。</p>		継続していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	会議などで話し合い、支援している。 1人ひとりのパターンをつかみ、誘導や声かけが必要な方に対しては時間での誘導などを行うようにしている。 いつまでも布パンツが使用出来る様心がけている。		継続していく。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望を受け、できる限り支援している。 ゆずやしょうぶを入れ、季節感を楽しむ様にしている。		継続していく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	希望を重視し、支援している。 その時の利用者の状態に合わせている。		継続していく。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	外出などを取り入れ支援している。 得意なことをしてもらったり、人のためになっている等、生活にハリを持って過ごせるよう支援している。		継続していく。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望や力に応じ、財布を持ってもらい買い物をする。 また、自分の好きな食事を選び支払う外食支援も行っている。		継続していく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や外気浴など、出かけられるようにしている。 ドライブなどへも出かける。 (春先より梅林、さくら、5月はバラ等、お花見も多種あり楽しんでる)		継続していく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節の行事や催しに合わせて外出している。 定期的買い物やドライブに個別対応で出かけている。		継続していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも電話は出来る。取りつきもしている。 家族へ手紙をかける方には、書いて頂き請求書に同封している。		継続していく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、友人等いつでも来て頂く様、家族に知らせている。 居室でも居心地よく過ごしてもらえるよう配慮している。		継続していく。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいる。		今後も必要性について話し合いながら身体拘束、言葉の拘束のない介護を実践するよう努める。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的に鍵をかけず見守りを重視している。		施設から外へ出る時は職員が後ろからついて行ったり、一緒に行くなど危険のないように、見守りをしている。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	配慮している。		継続していく。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の状態に合わせ、取り組んでいる。		継続していく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	食事形態の工夫等取り組んでいる。 服薬は準備後、別の職員が再確認している。 服薬時にも名前の確認を行っているが、完全には無くならないので、確認作業を丁寧に行うようにしている。		年に2回避難訓練の実施をしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルを事務所に貼っている。		救命法などの研修に参加している。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回の避難訓練(日中、夜間対応)を行っている。消防士に来てもらい、消火器の使い方、通報の仕方など指導してもらっている。	○	継続している。 近隣の方にも訓練時は連絡をし、参加を呼びかけていきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	身体状況でリスクが考えられる場合は、来所時や電話での説明を行い、理解をして頂ける様行っている。		対応方法、注意点等話し合っている。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック、食事・水分量の確認で異常の早期発見、対応に努めている。 異変によるリスクも含めスタッフ間で情報を共有し対応に結びつけている。		継続していく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を薬と一緒に保管し、いつでも職員が内容を確認出来る様に努めている。		継続していく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	主治医の指示のもと、取り組んでいる。 オリゴ糖を使用したり、水分チェックを行うようにしている。 数日、排便がないときは下剤を使用することもある。		身体を動かし、腸を活発にする運動を促し、できるだけ自然排便できるように支援していく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、義歯をはずして洗っている。また、夜間には義歯洗浄剤を使用し、漬けて消毒をしている。		継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事量、食形態、好みに配慮しながら管理栄養士のメニューに従い、栄養バランスを図っている。	その日の身体状況に合わせて食形態などの対応を随時行なうようにしている。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	床・ハイター消毒(モップ掛け)、手すり、椅子、トイレ等・アルコール消毒を行なっている。食事前はおしぼりを使用し、手をアルコール消毒している。現在、職員はインフルエンザ対策としてマスク着用している。外出後は手洗い・うがい等を行っている。外来者も同様に行っている。	継続していく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器乾燥機、アルコール消毒を行なっている。	継続していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関を地域交流スペースとし、開放しているがあまり活用があるとは言えないが、通路にベンチを置いたりして工夫している。	○ 近隣の方に利用して頂けるように働きかけていく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	絵を飾ったり、花を飾ったりしている。季節ごとの壁画等を利用者と一緒を作り、飾っている。	○ 更なる向上に努める。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子を設置し、好きなどころでくつろげるようにしている。	○ 更なる向上に努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使っていた家具を持ってきたり、ソファを置いたりなどして、家族や本人と相談しながら工夫している。	○	今後も、家族と相談しながら、必要な物は対応して行きたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気はこまめに行うようにしている。 乾燥対策として居室にぬれタオルを掛けている。 エアコンのスイッチON・OFFはこまめに行っている。		継続していく。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	かべ伝いに手すりをつけている。フロアの椅子も安定性が良く、つかまることができ、フロアの6本の大きな柱があり、つかまる事、寄り掛かることができる。 トイレはカーテンで開け閉めできる。	○	更なる向上に努める。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の入り口、ホールの壁には、季節感などが分かりやすいように、レクリエーションで皆様に作って頂いたものを工夫して飾り、ホール内に手作りの天気マーク、日付カレンダーをおいてある。	○	もっと工夫を考えたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭には縁台、椅子セットを用意し芝生の庭、ガーデニング、夏は日よけのあさがおやゴーヤ作り等を楽しみ、ティータイム又日光浴やバーベキューなどするスペースが設けられている。	○	もっと工夫を考えたい。(建物の外回りを歩行訓練スペースにしたいと考えている。)

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

残存機能の維持、向上を考え、できる人には洗濯物をたたんでもらったり、掃除をしてもらったりしている。また、米をといでもらったり、順番で味噌汁を作っている。毎日違う味の味噌汁が味わえます。

レク行事で利用者様におやつを作ったり、小物を作ったりしている。その作ったものを二之沢グループ全体のお祭りに参加してお店を開き、利用者様に販売して頂き、達成感を味わってもらっています。とても好評です。

小規模多機能ホームと隣接している為、合同でレクをしたりして、利用者様同士の交流ができる。小規模と協働で踊りや合奏を覚え、地域の芸能祭などに参加して披露をしたりしている。